

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ  
 代表者名 代表取締役社長 福島 秀治  
 (コード番号: 8732 東証プライム市場)  
 問合せ先 経営管理部長 宇留野 真澄  
 (TEL. 03-4540-3804)

## 2022年9月次 月次概況 (速報) のお知らせ

2022年9月次の当社グループの月次概況 (連結ベース) を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

## 記

年 月	2022年3月期											
	2021年									2022年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	445	403	430	395	387	470	430	429	589	394	396	550
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	72,253	82,478	73,411	92,739	76,532	78,411	90,593	95,217	66,099	73,976	82,802	134,241
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	342,801	343,397	343,817	344,134	344,314	344,522	344,755	345,482	346,625	347,287	347,437	347,991
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	58,635	56,276	56,581	56,671	56,468	56,284	55,503	54,426	53,911	54,402	53,808	55,068
一般顧客	57,068	54,786	54,965	55,027	55,065	54,825	54,090	52,988	52,409	52,848	52,151	53,306
金融法人 (BtoB)	1,567	1,489	1,616	1,644	1,403	1,459	1,412	1,438	1,501	1,554	1,657	1,761
マネパカード口座数 (単位: 口座)	161,712	161,526	161,301	161,091	160,964	160,800	160,701	160,574	160,390	159,994	159,566	159,097

年 月	2023年3月期											
	2022年									2023年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	457	432	500	420	493	468						
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	130,806	139,280	141,401	113,223	119,648	128,574						
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	348,893	349,810	350,630	351,580	352,358	353,153						
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	56,841	56,680	57,597	57,397	58,239	58,842						
一般顧客	55,261	55,126	55,939	55,862	56,679	57,382						
金融法人 (BtoB)	1,579	1,553	1,658	1,534	1,559	1,459						
マネパカード口座数 (単位: 口座)	158,807	158,600	158,387	158,213	158,026	157,844						

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。  
 2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。  
 3. 2011年8月よりCFD-Metals取引 (差金決済取引) の取扱いを開始しており、CFD-Metals取引における預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。  
 4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとBtoB取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。  
 5. 2022年3月より、暗号資産CFD取引 (差金決済取引) における預り証拠金及び取引高 (売買代金を米ドルに換算) はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」に含めて表示しております。

## < 9月次の概況 >

9月の外国為替相場は、米ドル/円については、1ドル=138円台後半（月中安値）で取引が始まり、米国の金利先高感や日本のゼロ金利政策を背景に上昇した先月の流れを受けて、値動きを伴いながら上昇を続けました。22日には日銀の金融緩和維持の決定を受け、円売り・ドル買いが加速し、一時1998年8月以来24年ぶりの高値となる145円台後半（月中高値）まで上昇しました。しかし、直後に政府・日銀が24年ぶりとなる円買い・ドル売り介入を実施したことから、一時140円台前半まで急落、22日の値幅（高値と安値の差）は5.5円まで拡大しました。その後は141円台後半から144円台後半の高値圏で推移し、144円台後半で月末を迎えました。

米ドル/円以外の主要な取扱通貨である欧州・オセアニア通貨については、各通貨とも値動きが大きく、円に対して上昇傾向で推移し中旬に月中高値を付け、その後は下落に転じ下旬に月中安値を付ける動きとなりました。なかでもポンドは、23日の英政府の50年ぶりの規模となる大規模減税発表を受けて、財政悪化懸念から英国債が急落、全面安となり、ポンド/円は、22日の日本の為替介入と英政府の大規模減税発表により、22日の高値である164円台半ばから26日の安値である150円台前半まで3日間で14円も下落しました。その後は、28日の英中銀による英国債の無制限購入発表をきっかけにポンド買い戻しの動きが活発となり、月末には一時162円台前半まで回復しました。

外国為替相場の変動率は、1日の平均値幅が1.615円（前月は1.549）となった米ドル/円、下旬に急落したポンド/円をはじめ、ほとんどの通貨ペアで1日の平均値幅が前月より拡大したことから、全体として前月を大きく上回り、非常に高い水準が続く2月下旬のロシアのウクライナ侵攻以降では9月が最も高い水準となりました。

このような状況の中、パートナーズFXnanoでは先月に引き続き「米ドル/円」、「ユーロ/円」、「豪ドル/円」、「ポンド/円」、「メキシコペソ/円」の計5通貨ペアにて、当社所定の注文数量まで原則24時間スプレッド0.0銭（売買同値）を提示する業界初となるキャンペーンを続行しております。併せて、ゴールデンマネパタイム（17時00分から26時00分まで、以下同じ。）において、「米ドル/円」、「豪ドル/円」をはじめ計18通貨ペアのスプレッドを業界最狭水準で提示するキャンペーンを続行しました。

「約定力100%」のパートナーズFXでは、9月14日（「メキシコペソ/円」は9月12日）より、「米ドル/円」スプレッド0.2銭、「メキシコペソ/円」スプレッド0.1銭を提示するスプレッド縮小の対象時間を、大幅拡大するキャンペーンを実施しております。「米ドル/円」は10時から26時までの計16時間、「メキシコペソ/円」は14時から26時の計12時間にて、業界最狭水準スプレッドでお取引いただけます。また前月に引き続き、ゴールデンマネパタイムにおいて、「豪ドル/円」、「ポンド/円」をはじめ計17通貨ペアにて、パートナーズFXnanoに次ぐ業界最狭水準のスプレッドを提示するキャンペーンを続行しております。

「まいにち金・銀 (CFD-Metals)」においても、ゴールデンマネパタイムにて「金/米ドル」スプレッド0.2pips、「銀/米ドル」スプレッド0.2pipsの業界最狭水準スプレッドを提示するキャンペーンを続行しております。

これに加えて、パートナーズFXでは引き続き「米ドル/円」、「トルコリラ/円」、「メキシコペソ/円」、「南アランド/円」、「米ドル/トルコリラ」の計5通貨ペアにてキャッシュバックキャンペーンを実施しております。こちらのキャンペーンは期間中（10月3日7時00分から11月1日5時55分まで）の取引数量に応じてキャッシュバックを得られるだけでなく、期間中の取引日数に応じて最終的なキャッシュバック額を最大25%増額しております。また当社所定の期間（9月1日6時10分から10月1日5時50分まで）に通貨ペアを問わず1度でも当社でFX取引をされたお客様がキャンペーン期間中に1日でもお取引いただくと、3%のキャッシュバック増額からスタートしていただける内容としております。「まいにち金・銀 (CFD-Metals)」でも「金/米ドル」、「銀/米ドル」を対象として、パートナーズFXと同様にキャッシュバックキャンペーンを実施しており、取引日数に応じてキャッシュバックが増額となります。

また、マネーパートナーズでは10月下旬より、「人民元/円」、「米ドル/人民元」（パートナーズFXのみの取扱）、「ノルウェークローネ/円」、「イスラエルシェケル/円」の計4通貨ペアの取扱を新たに開始することを予定しております。なかでも、日本国内で「イスラエルシェケル/円」のお取引が出来るのはマネーパートナーズのみ（※）となります。 ※一般社団法人金融先物取引業協会2022年6月末時点会員137社、特別参加者4社を調査

これらの結果、外国為替取引高は、前月比7%増加の1,285億通貨単位となりました。営業収益は、取引高が増加したものの、ポジションのロールオーバー時における受渡日の繰延べ日数の関係からトレーディング損益が減少したことに加え、システム関連売上高が減少し、前月比5%減少の468百万円となりました。外国為替取引預り証拠金は一般顧客分が増加、金融法人分が減少となり、全体では前月比602百万円増加の58,842百万円となりました。